



持続可能な社会の実現に向け、  
循環型ものづくりの  
さらなる進化を目指して

平素より永大産業グループに格別のご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私たち永大産業グループは「木を活かし、よりよい暮らしを」という基本理念のもと、

地球・社会・人との共生を通じて豊かで持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けることを目指しています。

昨今、住宅業界を取り巻く環境は、住宅価格の高止まりや住宅ローン金利の上昇、

少子高齢化・人口減少など複合的な要因により、

依然として厳しい状況が続いておりますが、こうした環境下においても、

私たちは中期経営計画「EIDAI Advance Plan 2026」の達成に向けて、様々な取り組みに挑戦し、

事業構造の転換と収益力の強化に取り組んでまいります。

このEIDAIレポートでは、例年、当社グループにおける様々な取り組みを紹介しておりますので、

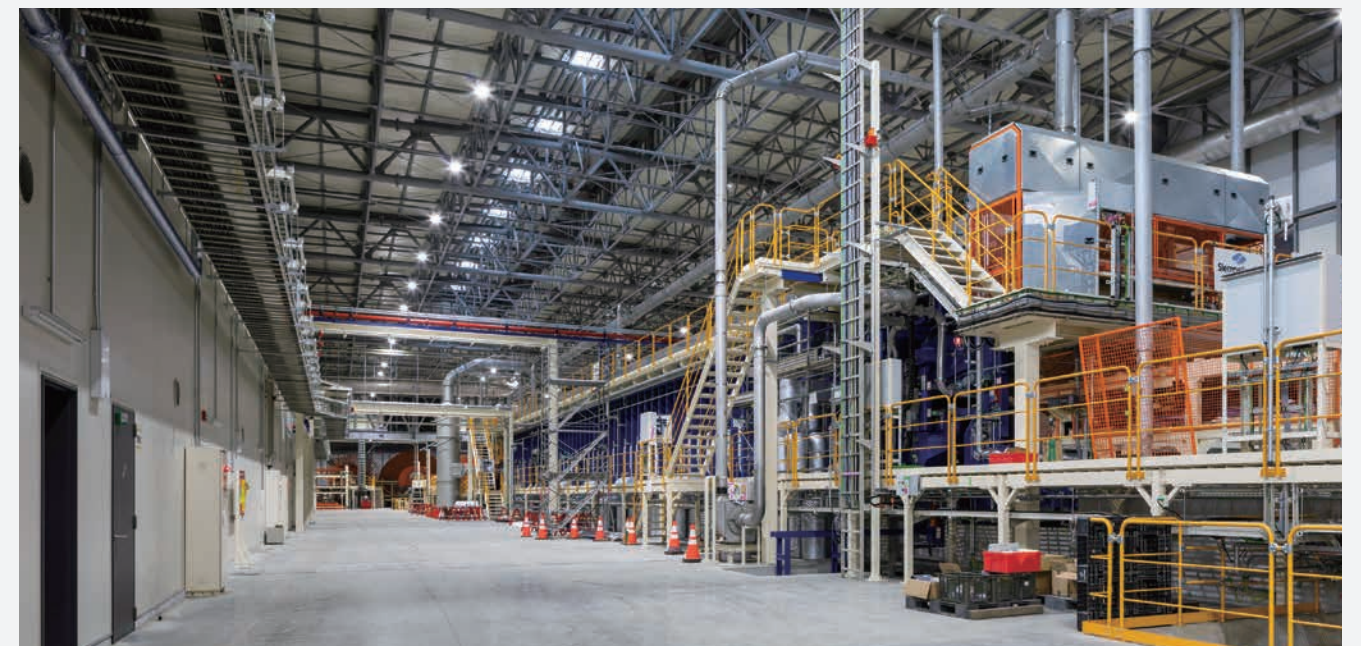
是非ご一読いただけますと幸いです。

## サーキュラーエコノミーへの挑戦と パーティクルボード増産の歴史

永大産業グループは、1969年より工場で発生する端材や廃材、間伐材などの木質資源を有効活用する「マテリアルリサイクル」に着目し、パーティクルボードの製造・販売を開始しました。端材や建築廃材を活用することで廃棄物の削減につながるだけでなく、新たな木材の伐採を抑えることで森林資源の保護に寄与し、半世紀以上にわたり、資源を活かしながら地球にやさしい循環型ものづくりを継続してきました。現在、世界的に注目されている「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」は、まさに当社グループが業界に先駆けて実践してきた取り組みそのものです。

循環型ものづくりのさらなる進化を目指し、2019年には日本最大級の生産能力と最新鋭の製造設備を備えたENボード株式会社を設立。高品質かつ環境に

配慮したパーティクルボードの安定供給体制を整えました。また、パーティクルボードの用途拡大に向けて、これまで培ってきたノウハウを活かし、低比重で床暖房対応可能なフローリング用基材を開発。2025年10月には、この基材を使用した床暖房対応シートフローリング『Eグリーンフロア』を発売し、フローリング分野への本格展開を開始しました。『Eグリーンフロア』の普及を通じて、新たな木材の伐採を抑制し、森林資源の保護に貢献します。従来の基材と同等の性能を備えながら、環境への負荷を軽減するこの製品は、持続可能な社会の実現に向けた重要な一歩です。また、資源の有効活用とCO2削減を両立させた環境配慮型製品のラインナップを拡充し、循環型ものづくりの高度化を推進しています。さらに、フローリング用をはじめとした、高機能パーティクルボードについては、自社での活用にとどまらず、業界全体への普及にも積極的に取り組むことで、サーキュラーエコノミーへの貢献を目指しています。







## 事業構造の転換と新たな価値創造

お客様に安心・安全な製品をお届けするためには、まずは社内の安全についての取り組みを徹底させなければなりません。当社では「安全と健康は全てに優先する」と全社に宣言し、グループ一丸となって従業員の安全意識の高揚を図るとともに、すべての従業員が安全に業務を行えるよう、職場環境整備を推進してまいります。その上で、住宅資材事業においては、設計、製造から販売に至るまで、「お取引先様及びエンドユーザー様にご満足いただける製品品質とサービスの提供」を最優先とし、お客様にご満足いただける様々な新製品の発売をはじめ、既存販売先でのシェア拡大や新規販売先の開拓、販売価格の適正化、製造原価の低減などにより、さらなる収益性の改善を目指しています。加えて、リフォーム・

リノベーションの需要獲得や非住宅分野での販売強化を進め、新築依存からの事業構造転換を図り、事業領域の拡大と収益力の強化に取り組めます。

木質ボード事業では、ENボード株式会社の収益改善に向けて、生産設備の稼働時間を最大限に維持し、安定した生産体制の構築と持続的な収益基盤の強化を目指します。

また、サステナビリティ推進体制の強化にも注力し、気候変動問題への対応だけでなく、人的資本への投資、多様性の尊重など、企業活動を継続・発展させるための課題に積極的に取り組んでいます。その一環として、地球温暖化による気候変動というグローバルな課題に対して、2024年には温室効果ガス削減目標においてSBTイニシアチブの認定を取得し、省エネ活動や再生エネルギーの導入など、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みも加速しています。

## 人財育成と地域社会との連携

永大産業グループは、持続可能な成長のためには人財が不可欠であると考えています。社員一人ひとりが自らの能力を最大限に発揮できる環境づくりを推進し、働きがいのある職場づくりの推進にも取り組んでまいります。また、研修制度やキャリア支援を充実させることで、次世代を担う人財の育成に取り組み、企業の競争力強化につなげてまいります。

さらに、地域社会との連携も重要なテーマです。地域の環境保全活動などを通して、社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域とともに成長する企業を目指しています。これらの取り組みを通じて、企業としての社会的責任を果たし、地域社会からも信頼される存在となることを目指します。

## 未来への展望と挑戦

今後も、社会や環境の変化に柔軟に対応しながら、当社の主な事業領域である住まいと暮らしの分野を中心に、持続可能な社会の実現に向けて具体的な取り組みを推進してまいります。サーキュラーエコノミーの理念に基づいたパーティクルボードの増産による資源循環型社会への貢献、そして当社の基盤である住宅資材事業における新たな価値創造を通じて、永大産業グループは未来に向けて持続可能な成長を目指してまいります。

すべてのステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指し、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。今後とも、皆様のご支援とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長  
枝園 統博